

みんなでつくろ!新施設!

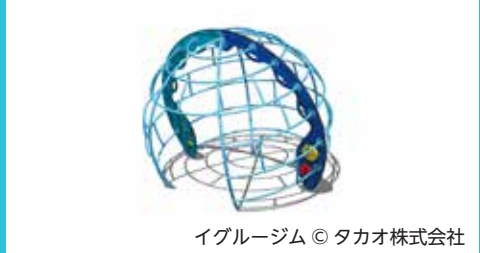
使う子ども自身が選ぶ

教室のアクセントカラー(藤久保小学校)



学校生活の記憶に華を添えたり団結力を高めることが期待できる、内装のアクセントカラー選定に藤久保小学校の子どもたちの意見を取り入れます。

インクルーシブ遊具(子育て支援ゾーン)



イブルージム © タカオ株式会社

子育て支援ゾーンの屋外広場(P3平面図⑩)に設置する、インクルーシブ遊具の選定に町内在住の子どもたちの意見を取り入れます。

※障がいの有無や年齢などに関係なく、みんなが楽しく遊べる遊具。(写真は遊具の一例です。)

ワクワクが詰まった 集い・学び・育つ みんなの施設——。

手続き等に反映される事が大切だからCFCI。
このCFCIの取り組みとして、町では、藤久保小学校新校舎内のアクセントカラーや子育て支援ゾーンの遊具選定などに子どもたちの意見を取り入れる計画を進めています。
設置する物の特徴や考え方、安全性、維持管理に関する情報なども併せて提示した上で、子どもたちが選定する。子どもたちの自主性を育み、まちづくりを自分事と捉えて参画する取り組みです。
町は藤久保地域拠点施設整備等事業をはじめ、今後のまちづくりでもCFCIの取り組みを

行っていきます。
愛される町のシンボルに
施設の概要や雰囲気具体化したこの3月。町では、複合公共施設の愛称(呼び名)募集を開始しました。
藤久保小学校に隣接し、「子育て支援」「地域交流」など様々な機能が入る、皆さんのワクワクが詰まったこの複合公共施設。完成後は未永く、多くの人が、「集い・学び・育つ」輝く未来創造拠点になるように。
子どもから大人まで、みんなに愛される町のシンボルの愛称と一緒に考えて、新しい施設づくりに参加してみませんか? ■

CFCIって何?

「みんなが幸せになれるまち」をつくるために、ユニセフ(国連児童基金)が推進する「子どもにやさしいまちづくり事業」のこと。市町村等で、子どもをまちづくりの主体、当事者として位置付け、子どもの権利条約を具現化する活動です。

「子どもが幸せ」＝「みんなが幸せ」な施設
シーエフシーアイ

みんなの考えを新施設に



3/31(土) 5/6(火・祝) 新施設の愛称(呼び名)募集

問 施設マネジメント課 藤久保地域拠点施設整備準備担当 ☎455

- ▶ **申込み**: 応募フォーム(下コード)か、応募用紙(上記窓口・中央図書館・町内各公民館・町内各児童館にて入手)に①新施設の愛称(ふりがな)②愛称に込めた思い、由来など(400字まで)③氏名(ふりがな)④住所⑤電話番号⑥職業⑦年齢を記入し、各施設窓口へ提出して申し込み。(応募1回につき1作品のみ。応募回数に制限なし。)
- ▶ **選定方法**: 庁内の選定で候補作品を3点程度選出し、町民アンケートで決定。
- ▶ **結果発表**: 町制施行55周年記念式典(令和7年11月開催予定)での発表及び町HPにて公表。

※施設名称愛称に採用された応募者には、施設開設式典(令和8年8月予定)で表彰を行います。

▶ **その他**: 新施設愛称募集要領を確認の上、応募。



例えば...

文化会館の愛称は、英語で「雑木林」を意味する「coppice(コピス)」が由来!



子どもがまちづくりに参画

子どもをまちづくりの主体、当事者として位置づけ、子どもの声や意見が「まち」の決定や三芳町も「候補自治体」から「実践自治体」への承認をめざし、先行自治体を参考にしながら今後2年間かけて取り組みを行っていきます。

昨年12月16日、三芳町は県内で初めて、「CFCI(子どもにやさしいまちづくり事業)候補自治体」として承認されました。2月20日現在、国内では6自治体がCFCI実践自治体として承認されており、海外では三芳町の姉妹都市、ペタリングジャヤ市がマレーシアで初めてのCFCI実践自治体になっています。

県内初! CFCI候補自治体

子どもから大人まで幅広い年代の人たちが利用することになる藤久保地域拠点施設。皆さんに愛される施設にするために、多くの場で意見交換を行ってきましたが、ここで忘れてはいけないのが、町の未来を担う「子どもたち」の意見です。